

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項、競技注意事項および申し合わせ事項を適用する。

2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場はメイントラックを使用することを原則とする。ただし、投擲練習については本競技場とする。本競技場での練習については、係員の指示にしがって行うこと。
- (2) 本競技場及び補助陸上競技場は全天候舗装につき、スパイクピンの長さは 9mm 以内とする。なお、スパイクピンの数は 11 本以内とする。(TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6 参照)

3 招集について

- (1) 招集所は設けず、現地集合とする。(トラック競技はその競技のスタート地点付近、三段跳はメインスタンド前のピット付近、投擲種目は投擲ピット付近)
- (2) トラック競技は競技開始時刻の 20 分前集合、15 分前完了とする。
- (3) フィールド競技は競技開始時刻の 35 分前集合、30 分前完了とする。
- (4) 棄権する場合は、招集完了時刻の 5 分前までに競技者係に申し出ること。
- (5) アスリートビブスは使用しない。(受付で腰ゼッケンを配付する。これを 1 次点呼とする。)
- (6) 招集に遅れたものは棄権とみなし、出場を認めない。

4 競技運営について

- (1) 不正スタートをした競技者は 1 回目で失格とする。
- (2) 競技運営上、競技日程等を変更する場合がある。
- (3) 計時は、原則として電気計時(写真判定による 1/1000 秒)とする。
- (4) 短距離種目、障害種目では、事故防止のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (5) 競技前の跳躍・投擲練習は、競技役員の指示によって行う。
- (6) 競技者に対する助力については、競技規則 TR6.2 を適用する。フィールド競技については、コーチングエリアを設ける。その利用は、監督及び指導者が競技者とのコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐はしないこと。また、メインスタンドから動画を撮影した端末の受け渡しはできない。ジャベリックスローについては、コーチングエリアからの動画を撮影した端末の受け渡しはできる。
- (7) 抗議は、競技規則 TR8 によって定められた時間内に各チームの監督(代表者)が行うこと。
なお、抗議受付は大会本部に設けるので、預託金(10,000 円)を添え審判長に申し出ること。

5 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。

6 打ち合わせについて（役員・各チーム引率者）

8月30日（土）13：00	本競技場・室内走路付近
8月31日（日） 8：30	本競技場・室内走路付近

※各チームの監督（もしくは代表者）は必ず参加すること。

※参加費（1,000 円）は打ち合わせの前後の時間に室内走路で納入すること。

7 全国大会出場選手の選考等について

「第 56 回 U16 陸上競技大会」の選考等について

①次の種目は原則として、本競技会で 1 位となった選手が全国大会へ出場する。

男子	150m、1000m、110mH、三段跳、ジャベリックスロー ※三段跳は12m70を突破していること。 ※円盤投は33m50を突破していること。
女子	150m、1000m、100mH、三段跳、ジャベリックスロー ※三段跳は10m80を突破していること。 ※円盤投は25m50を突破していること。

②選抜された選手は特別な理由がない限り、全国大会に出場すること。

③①の種目における全国大会の申し込みは担当が行う。

④全国大会に出場する選手には、本大会中に担当より全国大会に関する説明を行う。（競技終了後）

8 その他

（1）発熱や風邪症状がある場合は本競技会への参加及び来場を自粛すること。

（2）テント類は本競技場のサイドスタンドとバックスタンドへの設営を認める。なお、運動公園内の芝生部分への設営も認めるが、ペグ等の撤収等に十分配慮すること。

（3）競技場内に降りての写真撮影は、大会本部に申し出て許可を得た場合以外は禁止する。

（4）迷惑撮影（盗撮）防止のため、本競技場内に撮影禁止エリアを設ける。

（5）ゴミは各チームで持ち帰ること。